

科目番号	64	科目名	衛生学(公衆衛生含む)(V)		
英文科目名	Public Health (V)				
大学・短期大学名	立命館		大学		
連絡先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1				
	TEL :	077-561-4972	FAX :	077-561-3935	
担当教員	金森 雅夫 (スポーツ健康科 学部 教授)				
実施方法	対面授業		遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	コーミングハウスI 203	会場	立命館大学BKC(びわこ・くさつ)キャンパス		
授業期間	2022年9月29日(木)～2023年1月19日(木) <毎週木曜日> 4 時限・講時 14 : 40 ~ 16 : 10				
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考口				
成績評価方法	定期試験(筆記)				%
	レポート試験(期末)	40			%
	平常点(出席・授業態度)	60			%
	その他()				%
別途負担費用	なし		あり()円		
その他特記事項					
<講義概要・到達目標>					
【授業の概要と方法】 人間を取りまく環境因子・地球環境と健康の関連を探求し、病気や死因の構造、疾病リスクと予防医学、疫学の方法について学習する。健康問題を単に個人の問題として捉えるのではなく、集団、社会における問題として理解し、分析する能力を養う。衛生に関する現代の課題を理解し、気候変動・健康格差などの問題解決に向けた危機管理、国際保健の重要性を知る。					
【受講生の到達目標】 ①環境(気候変動)と健康の関係、COP26の内容が理解できる。 ②予防および疫学とその方法について説明ができる。 ③衛生の動向およびリスクファクターについて説明できる。 ④健康日本21および健康づくりのための運動、身体活動基準について説明できる。 ⑤衛生に関する現代の課題を理解し、気候変動・健康格差などの問題解決に向けた持続可能な社会(SDGs)の目標、国際保健の重要性を知る。					
【成績評価方法】 ・レポート試験:40%(学修した日本の衛生・公衆衛生上の課題について、科学的根拠に基づいて論説し、考察する能力を評価する。) ・日常的な授業における取組状況の評価:60%(授業は各回の小テストによる理解度による評価。テーマに対しての「小レポート」作成による評価を行う。)					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	9月29日	社会と健康 健康の概念 公衆衛生の概念			
2	10月6日	疫学・統計(1) 衛生統計資料			
3	10月13日	疫学・統計(2) 疫学調査の方法			
4	10月20日	ライフスタイルの現状と対策(1)ー身体活動・運動			
5	10月27日	ライフスタイルの現状と対策(2)ー生活環境と健康 たばこの害 禁煙			
6	11月3日	ライフスタイルの現状と対策(3)ー生活環境と健康 飲酒 多量飲酒の害			
7	11月10日	環境と健康影響			
8	11月17日	環境(ウイルス・細菌)と感染症(1)			
9	11月24日	環境(ウイルス・細菌)と感染症(2)			
10	12月1日	発育・発達 成長 (1)母子保健			
11	12月8日	発育・発達 成長 (2)小児・学校保健			

12	12月15日	持続可能な社会(SDGs)と健康(1) 地球環境・気候変動と健康
13	12月22日	持続可能な社会(SDGs)と健康(2) 健康格差・貧困と健康
14	1月12日	持続可能な社会(SDGs)と健康(3) Withコロナ社会と超高齢社会と認知症対策
15	1月19日	Withコロナ社会で健康寿命をのばすには？
<p><教科書・参考書></p> <p>【教科書】 授業ではその都度、プリントを配布する。</p> <p>【参考書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『社会・環境と健康』 田中平三/徳留信寛/辻一郎/吉池信男著(南江堂 978-4-524-26893-1) ・『国民衛生の動向』(厚生統計協会) ・『認知症の看護』 鈴木みずえ著(南江堂 978-4-524-25514-6) 		